

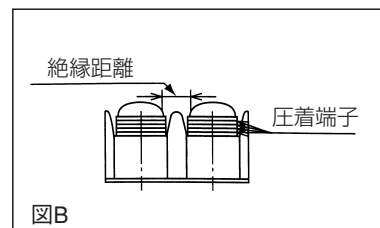
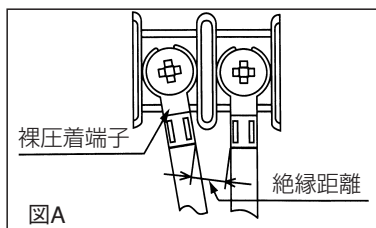
## ネジ式端子台

- 商品仕様をご確認の上、ご使用ください。
- ご使用電圧、電流に合わせた製品の取付(絶縁距離の確保)、接続電線、プリント基板の銅箔パターンを考慮してください。
- 定格電流は1極に使用できる最大値を表しています。1極に複数本の電線を接続する場合は、合計で定格電流以内となる様ご使用ください。
- 電線の接続、解除は電源を切った状態で行ってください。
- ネジの締付けはネジサイズにあったドライバービット(先端)を使用し、ネジサイズにあったトルクで締付けてください。

端子ネジの呼び	M2.5	M3	M3.5	M4	M5	M6	M8
締付けトルクN・m	0.4	0.5	0.8	1.2	2.0	2.5	6.0

※製品によっては、締付けトルクの仕様が異なる製品もあります。製品仕様書をご確認ください。

- コネクタ型とカードエッジ型の製品はプラグとレセプタクル(プリント基板)との挿抜は無負荷(通電OFF)の状態で行ってください。
- 裸圧着端子を使用する際には、充電部が露出しないように絶縁チューブ等により必要な絶縁距離をとり、感電、短絡等の予防をしてください。(図A)
- 圧着端子を1極に複数枚重ねて使用する際は隣接極との間に必要な絶縁距離が取れる範囲の個数にしてください。(図B)



- 振動や使用環境の温度変化等によりネジの締付けに緩みが発生し、接触不良、発熱の原因となることがありますので、定期的にし締めを行ってください。
- ハンダ上げた電線は、緩みの原因となることがありますので使用しないでください。
- 充電部が露出している端子台につきましては特に感電や短絡にご注意ください。
- コネクタ型とカードエッジ型の製品のプラグとレセプタクル(プリント基板)との挿抜は、こじらず真っ直ぐに行なってください。
- ハンダ付けの可否はフラックス上がりも含め、ご使用になられる機器や実装される基板などの実条件に左右されますので、実装条件によるご確認をお願い致します。
- 高温、低温、多湿な環境、結露や氷結の発生する環境、直射日光の当たる環境、振動や衝撃の加わる環境、塵埃等の多い環境、水、各種油、薬品(洗剤含む)、腐食性ガス等がかかる様な環境でのご使用はできませんのでご注意ください。
- 丸洗い洗浄については、洗浄液、洗浄条件によって製品に害を及ぼす場合がありますので十分ご注意ください。
- 海外規格の認証を得た製品につきましては、海外規格毎に海外規格上の制約がございますので、ご注意ください。
- 接続した電線に張力が加わらない様、接続電線の固定を考慮してください。
- 電線や圧着端子を接続する際は、隣接極、取付パネル、その他の製品などとの間に必要な絶縁距離が確保されるよう、ご注意ください。
- 結線しないネジにつきましても緩まぬよう締付けてください。
- 電線の接続・解除作業時には、作業に必要な力以上の負荷を製品に加えない様ご注意ください。ネジを締付たり、緩めたりする際に本体が回転したり端子が曲がったりしない様、取付方法を考慮してください。特にライトアングルタイプや極数の少ないものは、取り扱いに注意してください。
- 製品を取り付ける際は、仕様の締付トルクを超えた過剰な締付トルクを加えないでください。
- 商品の取付けや結線作業時に取り外した端子ネジなどの部品は紛失せぬよう、取り扱いにご注意ください。
- 連結式の製品につきましては、品質上の問題が発生する恐れがございますので、製品の分解、組み替えは行わないでください。
- 差込端子をご使用の際は、レセプタクル挿抜時にこじらないようご注意ください。
- 室内で使用する機器に使われる端子台です。屋外での使用は出来ませんので、ご注意ください。
- 本体底面が絶縁物で覆われておらず、充電部が見えるタイプのもの(例、ML-1765等)や、充電部が取付パネルに近くなるタイプのもの(例、ML-3391等)を金属パネルに取り付ける際は本体の下に絶縁物を敷く等の絶縁対策が必要です。
- 詳細については、最新の図面、仕様書等ご請求の上、ご確認ください。本内容と個別の図面、仕様とが異なる場合、個別の図面、仕様優先されます。